



12月に行われた、すみれ組と幼児クラスの「クラス発表の日」では、日々の遊びに子どもたちのアイデアや「やってみたい」を入れ込みました。この活動を通して、共通の目的に向けて考えたり工夫したり協力したりする喜びを味わうことが出来たのではないかと思います。これからも、子ども達と相談しながら頭と体を使って、バランスよく遊びを広げていきたいと思ひます。

緊張を楽しむ姿に驚き！(年長：うめぐみのエピソード)

“クラス発表の日”に向けて、友だちと相談し合って進めてきました。本番前は友達とセリフを確認し合う姿があり、本番ではたくさんの拍手をいただき、自信に満ちた表情で控え室に戻ってきました。「緊張しなかったの？」と聞くと、「緊張したけどそれが楽しかった。」と子どもたち。緊張を楽しみ、達成感を得る姿に驚き、頼もしく感じました。小学校でも力を合わせることを大切にしてほしいと思ひます。

さて、日本には古くから親しまれている「伝承遊び」がたくさんあります。伝承遊びは、複数の人で遊べる、身体を使う、道具を使う、言葉を使うなど自然に友達とのコミュニケーションが取れ、創造力、発想力、集中力が育まれていきます。今月は伝承遊びの中のお正月遊びを日々の遊びに取り入れいろいろ経験できるようにしていきたいと思ひます。また、時には遊びの由来にも触れていきたいと思ひます。また、今年からお子様への年賀状を控えさせていただくこととなりました。今年も引き続き保護者の皆様のご協力のもと、健康に園生活が送れるように努めていきたいと思ひます。

本年もよろしくお祈ひします。

未広こども園 園長 上村 健一

早番のご利用について

園舎内には7:20から入れます

7:20~8:30は、当番保育者の保育です。

7:20~8:00…全園児合同室内遊びです。

(子育て支援室)

8:00~8:30…0.1.2歳は、合同室内遊びです。

3.4.5歳は、外遊びです。

(天候によって合同室内遊び)

遅番のご利用について

5:00~6:50は、当番保育者の保育です。

5:00まで…全園児、各クラスで過ごします。

5:00~6:00…0.1.2歳は、合同室内遊びです。

(子育て支援室)

3.4.5歳は、合同室内遊びです。

(2F・B組保育室)

6:00~6:50…全園児合同室内あそびです。

(子育て支援室)

但し、短時間・新2号は、4:30以降 標準は、

6:20以降は別途延長保育料がかかります。

10(金) 身体測定 14(火) 避難訓練
23(木) 卒園記念写真(うめ) 13:30~
30(木) おやつ試食会(うめA)
31(金) おやつ試食会(うめB)

1月のうめ組と

おじいちゃんおばあちゃんの交流会

🍴 給食を一緒に食べましょう!

13日(金) 11:30~12:30

🎵 一緒に童謡を歌いましょう!

20日(金) 10:00~11:00

ご参加お待ちしております。

担任の先生にお声がけください。

お知らせ

すみれA担任の中野彩乃先生が1/25から産休となります。伊藤恵美子先生(現在きくA)が保育に入ります。よろしくお祈ひします。

就学以降につながる「思考力」 ～園と学校の学びは、「思考力」でつながる！～

なぜなら、子どもは0歳から思考しているからです。大人がイメージする「思考」とは少し異なり、「これは何だろう?」「こうしたらこうなるんだ!」といった驚きや気づきに近いものです。例えば、ジャガイモがたくさん収穫できたときに10の塊で数を数えました。その実体験を経て、「そういえば、あの時じゃ芋を数えたよね。」「143個あったよね。10の塊が14個で…」など、数量の学習へとつながっていきます。単に教科書を読んで学んだ子どもより、思考した経験を持つ子どものほうが、知識がより実感をもって定着していくと考えられます。「あ、そうか!」と、合点がいく感覚はとても心地が良く、学習意欲を高めます。そう考えると乳幼児期に経験したいのは、実体験を通してたくさん思考すること!そして、それは子ども自身の「試したい!」「やってみたい!」から始まるということが大切です。

【参考：大阪大谷大学教育学部小谷滝也教授の掲載及び学研ほいくあっぷ冬 幼保小連携小学校の先生に聞いた!】

感染症の流行について

いつもお伝えしていることではありますが、大切な点ですので再度お伝えします。

ご存じの通り、冬はインフルエンザの流行があり、RSウイルスも昨年同様、流行する可能性があります。子どもは上気道（鼻から喉）が狭く、いずれの病気も深刻になりかねません。

症状が出る前に感染を周囲に広げるウイルスもあり、症状が出ない場合もあります。感染力がとても強いウイルスもあります。症状は多様で、医療機関で診断がつかない場合もあります。そのため、子どもとおとな、子ども同士の濃厚接触が生活の基本となる園で、こうした感染症を完全に予防することは非常に困難です。

園としては、お子様の体調がいつもと違う時、こまめにお伝えいたします。ご家庭でもいつも以上にお子様の体調を見ていただき、必要に応じて対応をお願いします。

診断名がつかない場合も多々ありますが、ご家庭から報告があった感染症名を掲示しています（登降園用iPadの下）。また、報告があったクラスでは、各クラス出入口にも掲示しています。登園判断やお迎えのご参考になさってください。

園では感染症全般の予防のため、

- ★暖房を使いつつ定期的に換気する。 ★職員も子どもも手洗いをする。
 - ★タオル等は共有しない。 ★体調が悪い職員は休む。 ★ワクチン接種
 - ★必要に応じて、次亜塩素酸ナトリウムの薄め液でマニュアル通りに消毒をする。
- （ノロウイルスはアルコールが効かないため） 等、対策を続けていきます。

これからの季節は、感染性胃腸炎も流行しやすくなります。体調不良、嘔吐、下痢のお子さんや休みの職員が増えた場合、活動を変更したり、連絡帳の内容が大切な連絡のみになったり、送迎時間帯の連絡にゆき届かない部分が出たりする可能性があります。こちらもあわせてご承知おきください。